

メキシコの政策金利引き上げについて

ポイント① 政策金利を7.25%に引き上げ

12月14日、メキシコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、政策金利であるオフィシャル・オーバーナイト・レート（OFR）を0.25%引き上げ、年率7.25%とすることを決定しました。

利上げは6月の会合以来4会合ぶりとなります。同中銀はこれまでもFRB（米連邦準備制度理事会）に歩調を合わせ利上げを実施していました。市場参加者の多くは、今回も13日に利上げを決定したFRBと同じ0.25%の利上げを予想していました。

ポイント② インフレ抑制を優先

同中銀は、「最近のインフレ率の上昇を受け、今年末の予想インフレ率は、9月時点の6.30%から11月には6.50%に上昇した」と述べ、「インフレのリスクバランスが悪化していると考えられる」としています。また「今年の第3四半期以降、NAFTA（北米自由貿易協定）の再交渉や米国の金融政策など様々な要因からメキシコペソの価格に圧力がかかっている」とし「インフレの見通しはより複雑になっている」と説明しています。

同中銀は、「今後、インフレリスクの増大を考慮して、インフレ期待を抑制し、インフレ率を3.0%の目標値に収斂させるために必要であれば、即座に対応策を講ずる」と述べ、更なる利上げも考慮に入れて、金融政策を運営していく姿勢も示しました。

ポイント③ メキシコペソは下落

12月14日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、メキシコペソは対米ドルで前日比0.6%程度、対円で同0.9%程度のメキシコペソ安となりました。

図1：政策金利の推移

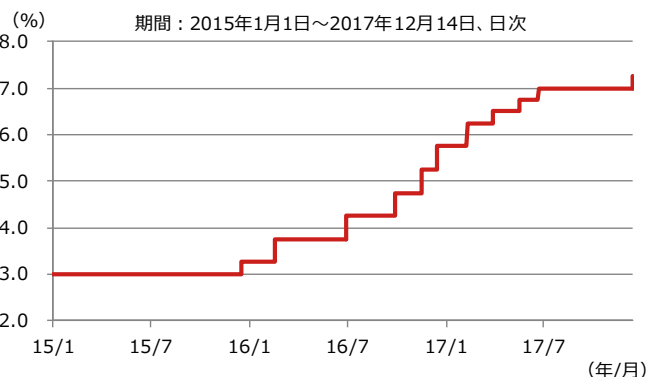


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

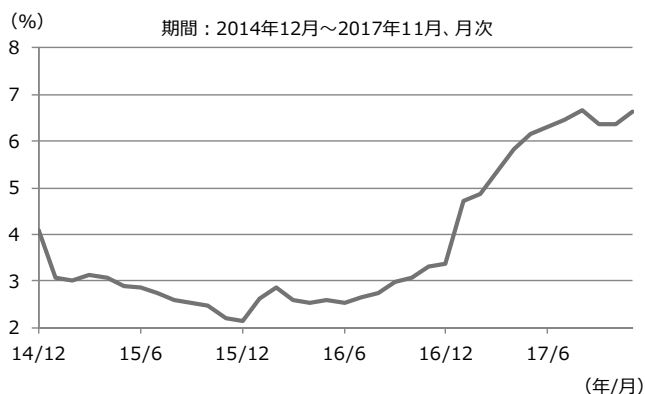
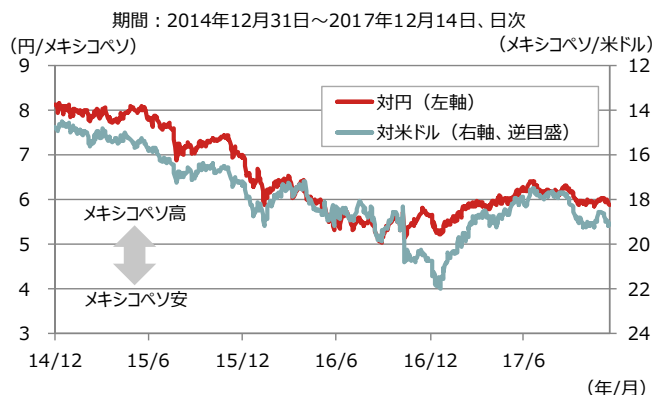


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

2018年1月3-6日 消費者物価指数(12月)
1月26-2月1日 GDP(国内総生産、10月-12月期)
2月8日 金融政策発表

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。